

平塚柔道協会HP内のブログ充実しています!

☆ 平 柔 通 信 ☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

今月の目標・

釣り手の動きを重視した乱取りをしよう!

～ 相 洋 杯 ～ 4名が入賞しました。

9月3日(日), 小田原市の相洋中・高校体育館において, 相洋杯が開催されました。この大会は小学5・6年生が対象です。当協会からは10名がエントリーしましたが, 結果は,

(小学5年女子) **本多(結)優勝**
 (小学6年男子) **真田(康)準優勝** 山口(翔)3位
 (小学6年女子) **佐藤(蓮)優勝**

でした。

ハイレベルな試合となりましたが, まだまだ組み手の甘さ, 技の雑さが見られる試合が多くありました。試合を通じて, 自己の反省点に気づき, その課題を, 日々の稽古の中で改善できるような取り組みが必要です。頑張りましょう!



湘南地区少年柔道大会～多くの選手が入賞してよかったね～

9月18日(日), 東海大学道場において, 湘南地区少年柔道大会が開催されました。この大会には, 県の強化選手も多く出場していましたが, その中でも当協会の多くの選手が入賞しました。結果は下表のとおりです。



学年	区分	優勝	準優勝	3位
小学1年	男子	真田(総)	原田(雄)	-
	女子	上水(雅)	新井(海)	-
小学2年	男子	原田(龍)	-	-
	女子	-	-	-
小学3年	男子	-	-	岩澤・遠藤
	女子	本多(絢)	-	-
小学4年	男子	山口(賢)	石川	大矢
	女子	-	-	-
小学5年	男子	-	-	宮田
	女子	本多(結)	-	-
小学6年	男子	真田(康)	山口(翔)	-
	女子	佐藤(蓮)	-	-

安全な少年柔道を目指して! 当協会が全柔連に嘆願書を提出

先般, 当協会長名で, 全柔連に対し, 少年規定に「両袖を持った状態から技を施すことを禁止する」項目を追加することについての嘆願書が提出されました。これは, 当協会の理事から発議されたもので, 最近の少年柔道の試合において横行して始めている危険な技術(両袖からの技)に対して, 少年期の試合では禁止とすることを求めるものです。少年期においては両腕を持たれているため, 投げられる際に受身が取れず, その結果として, 致命傷ともなりかねない, 頭部, 顔面(頸椎含む。)肩関節, 臀部等を負傷する危険性があります。このことを十分に理解していただき, 当該嘆願内容が審判規定に反映されることを強く望みます。

(10月の予定) 15日(日) 望星旗・厚木選手権 22日(日) V I V A 柔道杯

(雑感) ～ 柔道を愛するがゆえに ～

前述の嘆願書の件, 今般, 当協会のような町道場レベルからその問題を指摘し, 改善を求める嘆願が提出したことは, 実に画期的なことであると考えています。果たして, これを受領した全柔連審判委員会がどのような対応を行うのか, 今後, 興味深く推移を見守りたいと思っています。

このような動きは, 日本で生まれ世界に普及した柔道を愛するがゆえに, その安全性を確保するため, そして, 特に技術及び体力が未熟な少年期における競技上の安全を第一に考えた「親の目線」と「指導者の目線」の両者を持った指導者であるからでこそその行動だと思えます。今回のこの動きを聞いて, 改めて, 「柔道を指導する」ということの責任の重さを考えられました。(五)